

事業評価の結果（内容評価項目）

福祉サービス種別：障害者支援施設（生活介護）

事業所名：ユアサポートぽっぽ

判断基準の「a、b、c」は、評価項目に対する到達状況を示しています。
 「a」評価・・・よりよい福祉サービスの水準・状態、質の向上を目指す際に目安とする状態
 「b」評価・・・aに至らない状況＝多くの施設・事業所の状態、aに向けた取組みの余地がある状態
 「c」評価・・・b以上の取組みとなることを期待する状態

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点（実施している場合は■）	講評
A	1 利用者の尊重と権利擁護	(1) 自己決定の尊重	① 利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 1 利用者の自己決定を尊重するエンパワメントの理念にもとづく個別支援を行っている。 ■ 2 利用者の主体的な活動については、利用者の意向を尊重しながら、その発展を促すように支援を行っている。 ■ 3 趣味活動、衣服、理美容や嗜好品等については、利用者の意思と希望や個性を尊重し、必要な支援を行っている。 ■ 4 生活に関わるルール等については、利用者話し合う機会（利用者同士が話し合う機会）を設けて決定している。 ■ 5 利用者一人ひとりへの合理的配慮が、個別支援や取組をつうじて具体化されている。 ■ 6 利用者の権利について職員が検討し、理解・共有する機会が設けられている。 	<p>[取り組み状況]</p> <p>利用者の意志と希望や、個性を尊重した支援に努めていることは、個別支援のマニュアルに多様な障害に応じた合理的配慮が示されている、活動プログラムへの参加は利用者の主体的選択に任されていることから理解できる。</p> <p>また、月別計画による活動プログラムへの参加だけでなく、個別の対応にも配慮がなされている。</p> <p>[検討課題]</p> <p>生活に関わるルール等については、1日の流れ等を決めていく程度で全員を拘束するようなルールは決めていないものの、月1回の「みんなのはなしあい」の場で具体的に意見を汲み取っており、それに基づく見直しや柔軟で多様な工夫を更に組み入れることも期待したい。</p>
		(2) 権利侵害の防止等	① 利用者の権利侵害の防止等に関する取組が徹底されている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 7 権利侵害の防止等のために具体的な内容・事例を収集・提示して利用者に周知している。 ■ 8 権利侵害の防止と早期発見するための具体的な取組を行っている。 ■ 9 原則禁止される身体拘束を緊急やむを得ない場合に一時的に実施する際の具体的な手続と実施方法を明確に定め、職員に徹底している。 ■ 10 所管行政への虐待の届出・報告についての手順等を明確にしている。 ■ 11 権利侵害の防止等について職員が具体的に検討する機会を定期的に設けている。 ■ 12 権利侵害が発生した場合に再発防止策等を検討し、理解のもとで実践する仕組みが明確化されている。 	<p>[取り組み状況]</p> <p>法人共通の虐待防止マニュアルにより、虐待防止体制の整備や職員必携リーフレット等の具体的な取り組みで、発生時の対応や身体拘束の手順等を定めて取り組んでいる。</p> <p>また、身体拘束については、数人の車椅子使用者の安全ベルト装着を家族の同意を得て、マニュアルの手順に沿って実施している。</p> <p>これらの実践や権利侵害の防止等のための研修参加やマニュアルの周知徹底で、職員が具体的に検討する機会が増すとともに意識と理解も高まり、また、具体例を利用者が自分達の事として理解しやすいように工夫する取り組みも始まると推測する。</p>

利用者の尊重と権利擁護は、福祉施設・事業所の使命・役割の基本であり、虐待等の権利侵害を防止することは法令で必須とされる事項です。よって、取組の重要性に鑑み、取組が十分でない場合には、「c」評価とします。

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点(実施している場合は■)	講評
	2 生活支援	(1) 支援の基本	① 利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 13 利用者の心身の状況、生活習慣や望む生活等を理解し、一人ひとりの自律・自立に配慮した個別支援を行っている。 ■ 14 利用者が自力で行う生活上の行為は見守りの姿勢を基本とし、必要な時には迅速に支援している。 ■ 15 自律・自立生活のための動機づけを行っている。 ■ 16 生活の自己管理ができるように支援している。 ■ 17 行政手続、生活関連サービス等の利用を支援している。 	<p>[取り組み状況]</p> <p>支援マニュアルには個人の生活全般について、サービス管理責任者を中心に職員で検討して定めている。そこには、出来るだけ自分で考え行動できるように見守り、必要に応じ声をかけ支援する姿勢や自立を促す配慮も書き込まれ、職員間で共有して取り組んでいる。個人別に食事指導や金銭管理指導、買い物外出等の自律と社会参加に向けた支援も実施している。</p> <p>[検討課題]</p> <p>利用者一人ひとりがその人らしく生き生きと生活できることを目指して、職員も同様に生き生きと支援に勤められることを更に期待したい。</p>
			② 利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 18 利用者の心身の状況に応じて、さまざまな機会や方法によりコミュニケーションがはかられている。 ■ 19 コミュニケーションが十分ではない利用者への個別的な配慮が行われている。 ■ 20 意思表示や伝達が困難な利用者の意思や希望をできるだけ適切に理解するための取組を行っている。 □ 21 利用者のコミュニケーション能力を高めるための支援を行っている。 ■ 22 必要に応じて、コミュニケーション機器の活用や代弁者の協力を得るなどの支援や工夫を行っている。 	<p>[取り組み状況]</p> <p>障害が重度で発語のない利用者やコミュニケーションが十分ではない利用者の状況に寄り添って、日常的な関りを通じた個別の配慮をしている。利用者も職員も一堂に会する朝の会では、次第の表示やホワイトボードを使い、写真添付やひらがな使用等の工夫をして、発言の機会を作ってコミュニケーションの確保の機会を設けている。</p> <p>[検討課題]</p> <p>一人ひとりの意思伝達やコミュニケーションに関する支援についても支援マニュアルに位置付け、さらに職員間の情報の共有と連携した対応が図られることを期待したい。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点(実施している場合は■)	講評
			③ 利用者の意思を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。	b)	<input checked="" type="checkbox"/> 23 利用者が職員に話したいことを話せる機会を個別に設けている。 <input checked="" type="checkbox"/> 24 利用者の選択・決定と理解のための情報提供や説明を行っている。 <input type="checkbox"/> 25 利用者の意思決定の支援を適切に行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 26 相談内容について、サービス管理責任者等と関係職員による検討と理解・共有を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 27 相談内容をもとに、個別支援計画への反映と支援全体の調整等を行っている。	<p>[取り組み状況]</p> <p>いつでも利用者が職員に話したいことを話せる関係づくりに配慮をして、個別の相談に対応している。また、個別支援計画のモニタリング「私の応援プランについての振り返り」実施時には、利用者と個別面談を行い一緒に話し合っている。それらを個別支援計画に反映し、職員間で共有して支援に取り組んでいる。</p> <p>[検討課題]</p> <p>利用者の意志決定支援については、研修テーマに取り上げる等、課題意識を持った取り組みが始まっている。多様なスキルを身に着けて、利用者の意志を更に尊重する支援に取り組むことを期待したい。</p>
			④ 個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。	b)	<input checked="" type="checkbox"/> 28 個別支援計画にもとづく利用者の希望やニーズにより選択できる日中活動(支援・メニュー等)の多様化をはかっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 29 利用者の状況に応じて活動やプログラム等へ参加するための支援を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 30 利用者の意向にもとづく余暇やレクリエーションが適切に提供されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 31 文化的な生活、レクリエーション、余暇及びスポーツに関する情報提供を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 32 地域のさまざまな日中活動の情報提供と必要に応じた利用支援を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 33 個別支援計画の見直し等とあわせて日中活動と支援内容等の検討・見直しを行っている。	<p>[取り組み状況]</p> <p>日中活動については、生産活動・創作・音楽活動・健康運動等が用意され、月毎の標準プログラムの予定表が決められるが、利用者個々の障がい状況に応じたプログラムや個人的希望も聞いて、日々の対応をしている。講師やボランティアを積極的に活用して余暇やレクリエーション活動のメニューも増え、作品展示のために地域に出かけて行く機会も作っている。</p> <p>[検討課題]</p> <p>個別支援を実現する観点から、利用者が選択できる活動プログラムが固定化されない広がり工夫や、新たな活動の開拓への挑戦にも期待したい。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点(実施している場合は■)	講評
			⑤ 利用者の障がいの状況に応じた適切な支援を行っている。	b)	<p>■ 34 職員は障がいに関する専門知識の習得と支援の向上をはかっている。</p> <p>■ 35 利用者の障がいによる行動や生活の状況などを把握し、職員間で支援方法等の検討と理解・共有を行っている。</p> <p>■ 36 利用者の不適応行動などの行動障がいに個別的かつ適切な対応を行っている。</p> <p>■ 37 行動障がいなど個別的な配慮が必要な利用者の支援記録等にもとづき、支援方法の検討・見直しや環境整備等を行っている。</p> <p>■ 38 利用者の障がいの状況に応じて利用者間の関係の調整等を必要に応じて行っている。</p>	<p>[取り組み状況] 傷害が重度で個別の配慮を必要とする利用者の適切な支援を行うために、一人ひとりの傷害の状況に応じた支援の専門性の向上に努めている。 また、利用者の不適応行動やトラブルが生じた場合の対応には、職員間の連携を持って取り組んでいる。個別支援マニュアルは毎年見直し、支援方法の検討・見直しを実施し、一人ひとりの施設内での安心・安全のための留意点についても定めて取り組んでいる。</p> <p>[検討課題] 支援の質の向上を目指して専門職の助言(スーパーバイズ)を得ることや、研修の充実が欠かせないという認識を職員間で共有したい。 毎月のスタッフ会議は職員全員で個々のケースについても検討がなされているが、別個に時間を確保して新規受け入れケースや支援困難ケース等の検討会を開催する等、理解の共有の深化と支援技術の向上を目指す取り組みが全体の質のレベルアップに役立つと理解して、積極的な取り組みを期待したい。</p>
		(2) 日常生活支援	① 個別支援計画にもとづく日常生活支援を行っている。	b)	<p>□ 39 食事は利用者の嗜好を考慮した献立を基本としておいしく、楽しく食べられるように工夫されている。</p> <p>■ 40 利用者の心身の状況に応じて食事の提供と支援等を行っている。</p> <p>■ 41 利用者の心身の状況に応じて入浴支援や清拭等を行っている。</p> <p>■ 42 利用者の心身の状況に応じて排せつ支援を行っている。</p> <p>■ 43 利用者の心身の状況に応じて移動・移乗支援を行っている。</p>	<p>[取り組み状況] 昼食はお弁当やご飯だけの持参、配食弁当であり、利用者の希望や好みは献立に反映されることは難しいが、事前に配布された2か所の業者のメニューから選ぶことができ、ヘルシー量にも調節ができる。 また、現実的に可能な配慮も工夫して、職員が必要に応じてキザミ食やとろみ付け等の手を加えている。心地よく食事ができるよう、テーブルは車いすサイズに特注されている。 利用者の意向を受けての入浴支援は、細かな手順や配慮事項を個別支援マニュアルに定め、また、排泄支援についても利用者の心身の状況に応じた介助に取り組んでいる。</p> <p>[検討課題] 共用部分での個人の私物などは、整理整頓とともに、プライバシー保護の意識も持ちたいものである。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点(実施している場合は■)	講評
		(3) 生活環境	① 利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。	b)	<p>■ 44 利用者の居室や日中活動の場等は、安心・安全に配慮されている。</p> <p>■ 45 居室、食堂、浴室、トイレ等は、清潔、適温と明るい雰囲気を保っている。</p> <p>■ 46 利用者が思い思いに過ごせるよう、また安眠(休息)できるよう生活環境の工夫を行っている。</p> <p>■ 47 他の利用者に影響を及ぼすような場合、一時的に他の部屋を使用するなどの対応と支援を行っている。</p> <p>■ 48 生活環境について、利用者の意向等を把握する取組と改善の工夫を行っている。</p>	<p>[取り組み状況] 移転・新築3年目の広々として明るい採光の使い易い施設であり、設計段階から利用者像を意識したものと感じる。食堂のオープンスペースでは職員の目が行き届き、細かな支援ができて良いという職員の声も聞かれる。静養室・作業室・多目的室・創作室等の部屋も収納スペースが整い、日中活動の場、作業内容、使用目的に応じて使い分ける余裕がある。男女別の更衣室もあり、鍵付きの個人用ロッカーが置かれている。 静養室に置かれたベッド・布団・クッション、また、こたつ等は快適に休息ができるように整えられており、棚やTVの角には緩衝材が取り付けられ、安全への配慮も確認できる。これらの心地よい環境で、利用者は意欲的に活動ができると思われる。</p> <p>[検討課題] 浴室・入浴設備については利用者のニーズに合わせた改善を検討しているとのことであり、身体に重度の障害を持つ利用者に快適な入浴支援が実現する生活環境づくりも期待したい。</p>
		(4) 機能訓練・生活訓練	① 利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。	b)	<p>□ 49 生活動作や行動のなかで、意図的な機能訓練・生活訓練や支援を行っている。</p> <p>□ 50 利用者が主体的に機能訓練・生活訓練を行えるよう工夫している。</p> <p>■ 51 利用者の障がいの状況に応じて専門職の助言・指導のもとに機能訓練・生活訓練を行っている。</p> <p>■ 52 利用者一人ひとりの計画を定め、関係職種が連携して機能訓練・生活訓練を行っている。</p> <p>□ 53 定期的にモニタリングを行い、機能訓練・生活訓練計画や支援の検討・見直しを行っている。</p>	<p>[取り組み状況] 数名の車いすを使用している利用者や装具を装着している利用者等に、必要に応じて病院の理学療法士の指導を受け、立位訓練・歩行訓練等の機能訓練を支援マニュアルに定め実施している。 法人が理学療法士を不定期ではあるが雇用しており、そこで個別相談もできる体制にある。 また、調理や買い物等を生活訓練に位置付け、希望に応じて取り組んでいる。</p> <p>[検討課題] 日々の生活動作の中でも利用者が主体的にできることを工夫して、機能や能力を維持向上できるような取り組みを更に期待したい。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点(実施している場合は■)	講評
		(5) 健康管理・医療的な支援	① 利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。	b)	<p>■ 54 入浴、排せつなどの支援のさまざまな場面をつうじて、利用者の健康状態の把握に努めている。</p> <p>■ 55 医師又は看護師等による健康相談や健康面での説明の機会を定期的に設けている。</p> <p>■ 56 利用者の障がいの状況にあわせた健康の維持・増進のための工夫を行っている。</p> <p>■ 57 利用者の体調変化等における迅速な対応のための手順、医師・医療機関との連携・対応を適切に行っている。</p> <p>■ 58 障がい者・児の健康管理等について、職員研修や職員の個別指導等を定期的に行っている。</p>	<p>[取り組み状況] 利用者は毎朝検温を済ませて通所し、到着後に職員の手で検温と血圧測定が行われ、健康管理マニュアルに沿って健康状態の把握に努めている。 障がいの状況に合わせた健康の維持のために、手浴・足浴を行っている利用者もいる。 「みんなのはなしあい」で看護師により健康に対する話題を取り上げ、今年度は感染症にかからないをテーマに利用者にも説明をして、理解を促す取り組みもある。</p> <p>[検討課題] バイタルチェックのみならず、日々職員が利用者と一緒にしながら支援の様々な場面において健康状態の把握と適切な対応をして、利用者の健康管理が維持できるように期待したい。</p>
			② 医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。		b)	<p>□ 59 医療的な支援の実施についての考え方(方針)と管理者の責任が明確であり、実施手順や個別の計画が策定されている。</p> <p>■ 60 服薬等の管理(内服薬・外用薬等の扱い)を適切かつ確実に行っている。</p> <p>■ 61 慢性疾患やアレルギー疾患等のある利用者については、医師の指示にもとづく適切な支援や対応を行っている。</p> <p>□ 62 介護職員等が実施する医療的ケアは、医師の指示にもとづく適切かつ安全な方法により行っている。</p> <p>■ 63 医師や看護師の指導・助言のもと、安全管理体制が構築されている。</p> <p>□ 64 医療的な支援に関する職員研修や職員の個別指導等を定期的に行っている。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点(実施している場合は■)	講評
		(6) 社会参加、学習支援	① 利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。	a)	<p>■ 65 利用者の希望と意向を把握し、社会参加に資する情報や学習・体験の機会を提供する等、社会参加への支援を行っている。</p> <p>■ 66 利用者の外出・外泊や友人との交流等について、利用者を尊重して柔軟な対応や支援を行っている。</p> <p>■ 67 利用者や家族等の希望と意向を尊重して学習支援を行っている。</p> <p>■ 68 利用者の社会参加や学習の意欲を高めるための支援と工夫を行っている。</p>	<p>[取り組み状況]</p> <p>事業計画に、地域の中で豊かな体験を積み重ねる支援を行うことを謳い、数多くの社会参加の機会が提供されている。バス旅行・ドライブ・納品・製品販売・買い物・図書館利用・喫茶店体験・スポーツ大会参加・四季の行事等を行事予定に組み込み、計画的に活動している。</p> <p>「すみあそび」と称する墨で描く創作・学習活動は、個性豊かな芸術性に溢れた作品を生み出している。</p> <p>これらの作品等を地域の展示場所、市民ギャラリー・郵便局・信用金庫・図書館・JA・医院・食事処や喫茶店・文化祭会場等々、多くの場所への展示や常設展示場もある。</p> <p>地域の人々に鑑賞してもらうとともに、利用者もこれらの展示会場を巡って「ぽっぽあーと展」を見学して社会参加の機会にしている。</p> <p>これらの多くの活動を体験し、利用者は生き生きと自己実現の喜びを得ることができている。</p>
		(7) 地域生活への移行と地域生活の支援	① 利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。		<p>□ 69 利用者の希望と意向を把握し、地域生活に必要な社会資源に関する情報や学習・体験の機会を提供している。</p> <p>□ 70 利用者の社会生活力と地域生活への移行や地域生活の意欲を高める支援や工夫を行っている。</p> <p>□ 71 地域生活への移行や地域生活について、利用者の意思や希望が尊重されている。</p> <p>□ 72 地域生活への移行や地域生活に関する課題等を把握し、具体的な生活環境への配慮や支援を行っている。</p> <p>□ 73 地域生活への移行や地域生活のための支援について、地域の関係機関等と連携・協力している。</p>	<p>※ 地域生活をしている利用者のため、非該当とする。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点(実施している場合は■)	講評
		(8) 家族等との連携・交流と家族支援	① 利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。	b)	<input checked="" type="checkbox"/> 74 家族等との連携・交流にあたっては、利用者の意向を尊重して対応を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 75 利用者の生活状況等について、定期的に家族等への報告を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 76 利用者の生活や支援について、家族等と意見交換する機会を設けている。 <input checked="" type="checkbox"/> 77 利用者の生活や支援に関する家族等からの相談に応じ、必要に応じて助言等の家族支援を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 78 利用者の体調不良や急変時の家族等への報告・連絡ルールが明確にされ適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 79 利用者の生活と支援に関する家族等との連携や家族支援についての工夫を行っている。	<p>[取り組み状況]</p> <p>家族等との信頼関係を築くことを大事にして、毎日の連絡帳のやり取りや送迎時などの日頃のコミュニケーションを図るなど、連携を意識している。</p> <p>体調不良や急変時等、利用者にかあつた時には、看護師やサービス管理責任者を通じてストレートに早く伝えることを心掛けている。</p> <p>毎年3月に、家族・後見人・グループホームの支援員等の希望を受けて個別面談を実施し、要望などを聞き取り情報交換をしている。</p> <p>また、個別支援計画には利用者本人と家族の署名をもらい、後見人に送付したり、グループホームにはコピーを渡す等の配慮もしている。</p> <p>[検討課題]</p> <p>障がい者相談支援センター等、計画相談事業者との連携や支援会議への家族参加の機会を捉えて、別の視点から要望や意見を聞き取る工夫も期待したい。</p>
	3 発達支援	(1) 発達支援	① 子どもの障がいの状況や発達過程等に応じた発達支援を行っている。		<input type="checkbox"/> 80 子どもの発達過程や適応行動の状況等を踏まえた発達支援(個別支援)を行っている。 <input type="checkbox"/> 81 子どもの発達に応じて必要となる基本的日常動作や自立生活を支援するための活動や取組について、個別活動と集団活動を組み合わせながら実施している。 <input type="checkbox"/> 82 子どもの活動プログラムについてはチームで作成するとともに、子どもの状況に応じた工夫や見直しを行っている。 <input type="checkbox"/> 83 子どもと保護者に対し、学校及び保育所や認定こども園、児童発達支援事業所等との情報共有、連携・調整をはかっている。	※ 障がい者のため、非該当とする。
	4 就労支援	(1) 就労支援	① 利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。		<input checked="" type="checkbox"/> 84 利用者一人ひとりの働く力や可能性を引き出すような取組や工夫を行っている。 <input type="checkbox"/> 85 利用者一人ひとりの障がいに応じた就労支援を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 86 利用者の意向や障がいの状況にあわせて、働くために必要なマナー、知識・技術の習得や能力の向上を支援している。 <input checked="" type="checkbox"/> 87 働く意欲の維持・向上のための支援を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 88 仕事や支援の内容について、利用者への定期的な報告と話し合いを行っている。 <input type="checkbox"/> 89 地域の企業、関係機関、家族等との連携・協力のもとに就労支援を行っている。	※ 生活介護事業のため、非該当ではあるが、日中活動では労働意欲や金銭感覚、社会的ルール・マナーを意識した内容もあり、就労継続のA型やB型への移行支援と理解できる。

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点(実施している場合は■)	講評
			② 利用者に応じて適切な仕事内容等となるように取組と配慮を行っている。		<ul style="list-style-type: none"> ■ 90 利用者の意向や障がいの状況に応じた仕事時間、内容・工程等となっている。 ■ 91 利用者が選択できるよう、多様な仕事の内容・工程等を提供するための工夫を行っている。 ■ 92 仕事の内容・工程等の計画は、利用者で作成するよう努めている。 □ 93 賃金(工賃)等を利用者にわかりやすく説明し、同意を得たうえで適切に支払われている。 □ 94 賃金(工賃)を引き上げるための取組や工夫を行っている。 ■ 95 労働安全衛生に関する配慮を適切に行っている。 	<p>※ 生活介護事業のため、非該当ではあるが、日中活動の中に創作的活動や音楽活動、社会体験・余暇的活動のほかに、箱折作業・裁縫製品作り等の生産活動を組み入れている。</p> <p>このうち竹炭を使った裁縫製品はぼっぼのECOだから「POCO製品」と名付け、販売場所も確保され、製作者本人が販売をする機会もあり、売り上げの一部を得ている。</p>
			③ 職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。		<ul style="list-style-type: none"> □ 96 職場や受注先の開拓等により仕事の機会の拡大(職場開拓)に努めている。 □ 97 障害者就業・生活支援センターやハローワーク等との連携を定期的かつ適切に行っている。 □ 98 利用者の障がいの状況や働く力にあわせて、利用者与企业とのマッチングなどの就職支援を適切に行っている。 □ 99 就労後の利用者や職場との関係づくりなど、職場定着等の支援を必要に応じて行っている。 □ 100 利用者や地域の障がい者が離職した場合などの受入や支援を行っている。 □ 101 地域の企業等との関係性の構築や障がい者が働く場における「合理的配慮」を促進する取組・働きかけを行っている。 	<p>※ 生活介護事業のため、非該当とする。</p>